

広報 ゆうまやま

木綿間山

第37号

問い合わせ先

事務局西部公民館 ☎281-5006

編集発行：広報委員会

1年を振り返って

会長 村上 英子

春の訪れと共に暖かい日が増え、まだまだ油断できないコロナウイルス感染状況ですが、何となく花便りを求めて出かけたくなるような気分です。

今年度も前期と同様に新型コロナウイルス感染に振り回され、予定していた活動が出来ず、フラストレーションが溜まる1年となりました。最近では3回目のワクチン接種及び子供たちにも接種が勧められ、少しずつではありますが感染者も減少に転じ「まん延防止等重点措置」も解除となり、やっと明るい兆しが見え始めてきました。

なお、最近、気になるニュースとして、ロシアによるウクライナ侵攻が毎日報じられ現地の悲惨さに心を痛めております。日本においても物価高騰による影響が出始めており、一日でも早く終結する事を願っています。地域の方々には、いろいろとご支援・ご指導頂き5年間務めさせて頂いた会長職も今年度で終了となります。私としましては、人生の糧となる勉強を沢山させて頂き感謝でいっぱいです。

皆様のご多幸を祈念して最後のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

退任のあいさつ

副会長 安部 慈人

平成28年度からこの6年間、想像していた以上に大変だと感じたことも多々ありましたが役員として活動して来れましたことは、私にとって貴重な経験になりました。

初年度に健康講演会「ころばない身体づくり」、アトラクションで教育大の学生による落語まつりでにぎあったこと、またふるさと再発見プロジェクトで内浦小の児童や地域の皆さんからの情報をもとにマップを完成させたこと等が思い出されます。

また住みよい生活地域を目指す上で役員ひとりひとりの協力と互いに助け合う精神が、地域づくりに役立っていることを実感することができました。

皆様と互いに協力し合って、こうして役員の任期を全う出来ますことを大変誇らしく感じております。

役員は退任しますが、これからも地域の一人として皆様と連携し、お互い協力し合っていけましたらと願っています。どうぞこれからも、よろしく願いいたします。



教育大落語研究会による落語会 H28. 9. 24



「ゆうま知りつくし情報マップ」 製作チーム H30. 3月

退任のあいさつ

事務局長 弓削 勇

事務局長を引き受けて早いもので6年経ちました。最初の頃何もわからず皆様のご指導ご協力のおかげで無事に役目を果たすと事ができ、ありがとうございました。

役を引き受けた事で、地域及び行政の人たちとの人脈づくりを創る事が出来、自分にとって宝とになりました。

活動では「内浦校区ゆうま知りつくし情報マップ」つくりに関員それぞれに、情報を集め数カ月をかけて完成させました。西部公民館内ロビーと内浦小学校に設置されていますので機会ありましたら地域行事等に活用してください。

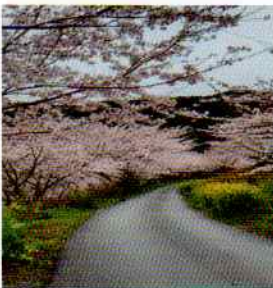
今後は、コミュニティ部会の世話人として活動させていただきます。

ふれあい部会「この1年は」

ふれあい部会長 太田 博江

令和4年も早3月に入り、桜の季節となりました。1年は、あっという間に過ぎ去った感が致します。この1年は、新型コロナウイルス感染防止措置をとりながら我慢の生活をしている所、新しいウイルスのオミクロン株の感染が広がり、又々「まん延防止令」が発令された1年でした。この為、ふれあい部会の行事も中止せざるを得ませんでした。3月6日をもって解除となりましたが、まだまだ安心はできません。今後もひとりひとりが原点に戻って更に3密を避け、手洗い、うがい、マスク等こまめに行い、コロナを抑え込み、みんなが笑顔で集える年になる事を願っています。

焼きそば隊



成田不動寺境内 R4.3.28



本堂から三里松原を望む



第21回春まつり H31.3.30

コロナ禍で1年を終えて

環境・交通副部会長 河原 典子

今年度も新型コロナウイルス感染拡大により環境・交通部会としての活動は出来ませんでした。一日も早く新型コロナが終息し、部会として課題改善に向けた取り組みや活動が出来ますことを願っています。

また一方で、私、民生・児童委員の立場から区においてふれあいサロンを開催しております。その中で3月初めに、岡垣町から自治区に賞味期限間近かの災害備蓄用保存アルファーマイ（熱湯を入れて15分で出来上がりの優れもの）を頂き「春!! ワクワク寿し」とネーミングし、洋風ちらし寿しを作りました。（春をイメージして可愛くトッピング）

ひとり暮らしの方や高齢者の皆様に参加していただき大変喜ばれました。



令和3年度の活動について

安全・安心青パト部会長 本松 博

コロナ禍の中、昨年4月より部会長になって、2ヶ月になろうとした矢先に病気で約4週間入院し、退院後もなかなか体調が回復しなくて乗務編成表の作成配布ぐらいしかできませんでした。幸いにもコロナのおかげで？予定されている年間活動計画や役場の会議等の自粛の為、次々に中止となり何かと凌げましたが年が変わってからも体調が思わしくない中、3月10日に役員会に出席、20日には青パト部会会議を開催しました。あと1年任期がありますが、無理をせずに体調と相談してできる範囲のことをやっていきたいと思っています。

新年度に向けて

防災部会長 吉田 正生

防災部会は防災士・区長・防災有志で構成されています。防災部会長として2期目となります。コロナ禍ではありますが、協議会において防災意識をもってもらえる様な工夫や、仕込みを作りを具体化的に出来るよう「備える活動」を計画します。まず民生委員等の情報により地域住民弱者に気を配り救護、避難誘導の手順を検討します。自治区ごとの予想される災害を想定して避難訓練の企画するなど、校区の管轄する消防団第二分団の協力で地域防災行動の連携を進めていきたいと思っております。住民の皆様のご理解を頂きまして、積極的な参加をお願いします。

内浦校区コミュニティ運営協議会の基本理念

美しい自然環境と自然の恵みを活かした「住みよい生活地域」づくりを目指すため、地域の住民・団体・行政が、それぞれの立場からこの地域の良い点や、自然環境・防犯防災・高齢化等の諸課題を見つめ直し、その情報を認識し、共有することが大切です。

そして私たちの地域住民一人ひとりと、団体・行政がそれぞれの特性・個性を活かし、対等な立場で話し合い、協働の地域づくりの考えのもとに、それぞれの役割を果たすことにより「住みよい生活地域」づくりが実現すると考えます。

私たち内浦小学校地域づくりは「故郷の美しい自然環境と伝統を守り、地域としての絆を深め、楽しい村興しを目指そう」を基本理念とし、住みよい生活地域づくりに取り組みます。

「内浦校区コミュニティ」の基本方針

1. 恵まれた自然環境を守り、防犯・防災対策を充実させて快適な環境をつくろう。
湯川山等の自然環境を守りつつ、地域における犯罪や災害を防ぎ安全で快適な地域環境づくりに取り組みます。
2. 高齢者を地域で支え、助け合う取り組みをしよう。
地域と行政が協力し、高齢者・特に一人暮らしのお年寄りが安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。
3. 地域の絆を深めるために、楽しいイベントをつくろう。
自然の恵みを活かし、地域住民の交流と子供たちの思い出に残る活動に取り組みます。
4. 青少年の健全育成を図ろう。
子供たちは地域の宝です。子供たちが心身とも健やかで心豊かで創造性に富んだ人間に育っていくような取り組みをします。

編集後記

広報「木綿間山」も最後の役目となりました。5年間、会長及び各部会長及び区長、学校などからの投稿を頼りに皆様の元へお知らせ等、情報を出来るだけ分かりやすく提供したかなと考えております。いろんなご意見等があったかと思いますが、自分が出来る限り工夫して作成しました。昨今は、コロナ禍で思うような行動、活動が出来ず、それに加えて世界ではロシアのウクライナ侵攻で大変なことが起きており、ほんとにこころが痛みます。はやく終息し、平和で安心して暮らせる世の中になる事を願うばかりです。本当に長い間お世話になりました。

安 部